

事業名 CD	0107010202	商工団体育成事業
細分化した事業名		商工団体育成事業
事業担当課室 CD	300400	商工観光課
		整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第5次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あふれるまちづくり	
	中項目	まちの賑わいをつくりだす商工業の振興	
	小項目	商業の振興	
関連する個別計画等	韮崎市まちなか活性化計画	根拠条例等	韮崎市商工会事業費補助金交付要綱
関連する事業	なし		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	①商工会運営、②商工会企画事業の実施支援③市内 11 商店街街路灯維持
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	商工会等を中心とした、商工業者。 11 商店街＝若栄会・銀座会・三栄会・観栄会・日商会・小田川・水栄会・商栄会・富士栄会・勉強組合・梅栄会
これまでの改善経過	平成 19 年度において、これまで不明確だった補助対象経費や交付基準を是正し、他市町村と比較などをする中で、要綱を策定した。商工会企画事業においても 3 年を一つの基準とし、補助金メニューの統廃合をするなど事業のマンネリ化防止に努めている。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 <input type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/>) 事業の内容を精査し補助金の交付。 商工会運営費 3,990 千円、商店街街路灯電気料補助金 11 商店会 100 万円、
事業の成果 (どのような状態にしたいのか、どのような効果を得るのか)	地域商業の活性化、にぎわい創出

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19 年度	20 年度	21 年度	
A	事業費 (千円)	6,154	5,990	4,090	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	177	209		
	市債				
	その他				
	一般財源	5,977	5,781	4,090	
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)	1.0	1.00	0.46	
C	人件費(平均人件費 × E) (千円)	6,901	6,909	3,139	
D	総事業費(A+C) (千円)	13,055	12,899	7,229	
* 参考		H21)市民1人当りの事業コスト	225 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注 1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注 2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19 年度(6,901 千円)、20 年度(6,909 千円)、21 年度(6,823 千円)を使用しています。
 注 3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	会員数	(人)	770	782	766
	経営改善普及事業	(指導回数)	1,590	2,301	2,430
成果指標	補助金支給額	(千円)	6,154	5,740	4,090
	経営改善普及事業補助金	(千円)	3,300	3,997	3,990
	風林火山ビジネスネットアクセス件数	(件数)	550,481	555,233	633,835
	受注件数	(件数)			131
	受注金額	(万円)			16,230
効率指標	会員一人当たり補助額	補助金支給額/会員数(円)	7,990	7,340	5,330
	指導1回当たり補助額	改善普及補助金/指導回数(円)	2,080	1,740	1,640
	風林火山ビジネスネットアクセス伸率	本年度-前年度/前年度(%)		1	14

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 要綱に基づき補助金決定を行っている。また、平成20年度からは市職員による検査を開始した。
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 風林火山ビジネスネット（インターネットを活用した販売促進、受注獲得）による取り組み。また、景気低迷を反映したこともあって、経営改善のための指導回数は増加している。
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない アクセス数が伸びており、地域商業の活性化には繋がっている。また、平成20年度より補助金の検査を開始したところだが、執行状況についてはなお継続した調査が必要。

総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する） <input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える） <input type="checkbox"/> 効率化（結果単位あたりのコストを下げる） <input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する） <input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、または廃止する） <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり

改善・改革の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか）			
改善・改革案	(1) 中長期的 経営改善普及事業など商工会の経常的な事業の強化及び「まちなか活性化計画」の推進（～平成24年度）	(2) 23年度 補助事業決算監査の継続実施	(3) 22年度 補助事業決算監査の継続実施
	21年度の改善計画		
	21年度の改善結果		

市民（地域）や民間、他官庁との役割分担（市民との協働の視点などから考えられること）
 個店経営力の強化や商店街のとりまとめなど商工会の役割は大きく、「まちなか活性化計画」の民間主体事業や協働事業でのリーダーシップが求められる。

課長所見
 指導調整機関として商工会の果たす役割は重要であり、行政と連携して商工業の発展に寄与できた。